

洛北SSHだより

平成30年10月23日発行
第8号
総務企画部

掲示用

1 京都・大阪数学コンテストで優秀賞・奨励賞を受賞！

7月15日（日）に行われた京都・大阪数学コンテスト（京都数学グランプリ 1st ステージ）において、浅野君（3年）と伏見君（3年）が優秀賞、土橋君（2年）と保家君（2年）と嶽盛君（1年）が奨励賞を受賞しました。今年は多くの生徒が受賞することができました。

京都数学グランプリは 2nd ステージの数学オリンピック道場（10月21日、12月9日）がまだ控えており、数学に関してより多くの生徒の活動が期待されます。興味を持った人は調べてみてください。



9月23日に行われた授賞式に参加しました

2 化学グランプリ 2018 近畿支部支部長賞を3名の生徒が受賞！

化学グランプリの一次選考が7月16日（月）に行われました。一次選考に向けて、本校では5回に渡って対策講座を開講しました。今年は残念ながら一次選考は突破出来なかったものの、その成績が優秀であった3名の生徒が近畿支部支部長賞を受賞しました。

化学グランプリは全国規模の化学コンテストで、高校生以下であれば誰でも参加できます。今年も高校1年生で挑戦した人もいますし、中学生の参加も可能です。学年を問わず、化学が好きな人はぜひ腕試しをしてみてください。なお、過去問は公式HPに掲載されています。



3 第6回科学の甲子園ジュニア全国大会出場決定！

8月18日（土）に行われた第6回科学の甲子園ジュニア全国大会京都府予選会において、本校より出場した中学2年生の石倉くん、石田くん、藤井くんのEチームが、準優勝という成績を収めました。これにより、12月7日（金）～9日（日）に茨城県で開催される全国大会への出場権を獲得し、本校としても第1回全国大会から続く連続出場記録を更新しました。全国大会においてもよい成績を残せるよう、応援をよろしくお願いします。



イメージキャラクター「アッピン」

4 サイエンスチャレンジ「ライフサイエンス実験講座」

10月5日（金）、サイエンスチャレンジとして、実験講座「緑に光る大腸菌を作ろう」を実施しました。遺伝子組換え技術について基本を学んだ後、実際に大腸菌に緑色蛍光タンパク質（GFP）の遺伝子を導入しました（形質転換）。GFPはオワンクラゲが造るタンパク質で、近年では生命科学の実験に幅広く利用されています（GFPを発見した下村脩博士は2008年ノーベル化学賞受賞）。

5日は遺伝子が大腸菌に入っただけで、見た目には何も変化がありませんでしたが、翌週、生えてきた大腸菌にブラックライト（紫外線）を当てると、大腸菌が緑色に光り実験は成功。自らの手で生物の性質を変化させたことに、参加者は驚きを隠せない様子でした。



5 「福井県立恐竜博物館サイエンスツアー」文理コース1年生



10月16日（火）に高校1年生文理コースを対象に、「サイエンスツアー福井県立恐竜博物館見学」を実施しました。実際の発掘現場の地層を見学し、研究員の指導の下、発掘を行うという体験を行い、貴重なワニの歯を発見した生徒もいました。また、博物館の展示を見学し、恐竜の生きていた時代の環境や、生物の進化や多様性など、生命科学基礎の授業内容と関連づけながら各自のテーマに基づき学習を行いました。

